

2020年度(第1-2四半期)
事業の報告書
(2020年4月1日▶2020年9月30日)



【表紙写真について】
2020年に竣工した撒積船 “NSU TUBARAO”
(載貨重量399,717トン)

証券コード 9110



NSユナイテッド海運株式会社



代表取締役社長

谷水一雄

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

事業環境に関して

当中間期（第2四半期累計期間）における世界経済は、各国のロックダウンをはじめとした新型コロナウイルス感染症拡大防止策により、様々な制限や需要の減退など大きな影響を受けました。規制の緩和と共に経済活動の再開が徐々に図られましたが本格的な回復には至らず、世界経済は当中間期を通じて低迷しました。外航海運市況のうち、ドライバルク市況は、第1四半期に新型コロナウイルス感染症拡大等の影響を受け大きく落ち込んだ後、第2四半期には中国の経済活動再開などから荷動きが再び反発しましたが、前年同期を下回る水準での推移となりました。VLGC（大型LPG運搬船）市況は、第1四半期は軟化傾向が続きましたが、第2四半期は需要の持ち直し等により堅調に推移しました。一方、内航海運市況は新型コロナウイルス感染症拡大の影響等から低調に推移しました。燃料油の平均消費価格につきましては、高硫黄C重油がトン当たり約262ドルとなり前年同期比では約177ドル安、適合燃料油がトン当たり約373ドル（前年同期は使用せず）となりました。また、対米ドル円相場は期中平均で107円67銭と、前年同期比では1円83銭の円高となりました。

当中間期の業績・配当に関して

このような環境下、戦略的に整備を続けてきた自社船隊を活用し、市況下落時の損失回避及び長期契約に基づいた安定収益の積み上げに注力したものの、市況低迷による影響から、当中間期の連結業績は売上高657億円、営業利益18億円、経常利益8億円、親会社株主に帰属する四半期純利益29億円となり、前年同期比では減収減益となりました。

こうした状況ながら一定の収益を確保できたことなどを踏まえて、当社は、株主の皆さまへの利益還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけ、今年度も中間配当の実施を決定し、1株当たり30円とさせていただきますこととしました。

通期の見通しに関して

2021年3月期の連結業績は、売上高1,330億円、営業利益37億円、経常利益22億円、親会社株主に帰属する当期純利益42億円を予想しております。また、期末配当につきましては未定ながら、連結業績に対する配当性向を概ね30%とする当社方針に基づき配当する予定です。なお第3四半期以降の前提条件は、対米ドル円換算率は105円、燃料油価格は内地C重油価格をトン当たり285ドル、適合燃料油をトン当たり385ドルとしております。

経営計画に関して

2020年10月1日で合併10周年を迎えた当社は、次の10年、さらなる飛躍を求めて、ESGの取り組みを中核に据えた中期経営計画「FORWARD 2030」を策定しました。2030年に向け、気候変動の抑制や資源循環の促進など持続可能な社会の実現に向けた機運の高まりや、デジタル化の進展など、事業環境の大きな変化が予想されます。こうした変化に適切に対応するため、中期経営計画では「安全運航」「環境保全」「お客様満足度」「技術イノベーション」「人材の確保・育成」「コーポレートガバナンス」をサステナビリティ重要課題（マテリアリティ）として決めました。この6つのマテリアリティに粘り強く取り組み、収益性と社会性を兼ね備えた企業を目指します。株主の皆さまにとって、より一層魅力的な事業会社となるために、グループ一体となって中期経営計画の達成に向けて進んで参ります。

●外航海運事業

ケーブ型撒積船市況は、主要5航路平均用船料率が5月中旬に日額2千ドルを割り込む等、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり低迷しましたが、その後の中国の鉄鉱石需要の回復を受けて、7月初旬には3万ドルを超える水準まで上昇しました。こうした中、海外顧客向け貨物の中・短期輸送契約を獲得するなど営業活動を積極的に進めた結果、7月に精査した従前の見通しを達成することができました。

パナマックス型撒積船市況は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う荷動きの低迷により、主要5航路平均用船料率が5月に日額5千ドル台まで落ち込みましたが、南米及び北米等の穀物輸送増加を中心に、8月には1万6千ドルを超える水準まで回復しました。こうした状況下、4～6月期の市況低迷が影響したものの、支配船舶を国内外顧客向けに配船し効率運航に努めた結果、従前の見通しを達成することができました。

ハンディ型撒積船は、昨年来の米中貿易摩擦に加えて、年初からの新型コロナウイルス感染症拡大による影響を受けました。往航主力貨物の日本積み鋼材輸出では、従来以上に配船先を広げるべく中米・インド・中近東向けを含めた集荷に努め、一般バルク貨物輸送は、市況変動を捉えながら効率配船に努めた結果、4～6月期の市況下落の影響が大きいながらも、従前の見通しを達成することができました。

近海水域における小型船は、新型コロナウイルス感染症拡大による需要の減退から輸送量が減少、特に4～6月にかけて主力貨物の日本積み鋼材輸送が大きく落ち込みました。輸送量全体の改善までには至らないものの、中国向け輸送は回復し往復航効率配船に努めた結果、従前の見通しを達成することができました。

VLGC（大型LPG運搬船）は、全て定期貸船契約により収益の安定化を図っています。一部の船舶が市況連動契約となっており、6月に一時的な市況の下落がありましたが、当中間期は概ね堅調な市況で推移し従前の見通しを達成することができました。

外航海運事業

■売上高

552億71百万円
(前年同期比 7.7%減)

■営業利益

11億79百万円
(前年同期比 53.2%減)



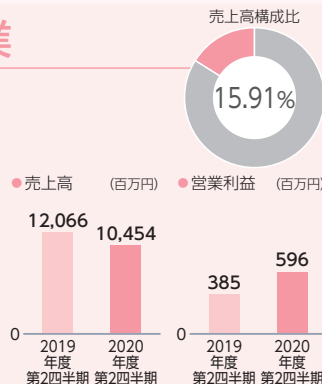
内航海運事業

■売上高

104億54百万円
(前年同期比 13.4%減)

■営業利益

5億96百万円
(前年同期比 54.8%増)



●内航海運事業

ドライバルクにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等から鉄鋼関連貨物や電力関連貨物、セメント関連貨物の輸送量は伸び悩みましたが、新規貨物の獲得など積極的な営業活動を展開するとともに、諸経費の削減に努めた結果、従前の見通しを達成することができました。

タンカーにつきましては、LNG輸送は需要が減少するなか効率運航に努め従前の見通しを達成することができました。LPG輸送のうち、民生用は夏場の需要減退期を迎え、工業用と化学原料用は新型コロナウイルス感染症拡大による需要減を受け輸送量は減少し、従前の見通しを達成することができませんでした。

連結財務諸表

四半期連結損益計算書（要旨）（第2四半期連結累計期間）（単位：百万円）

	科 目	前第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	当第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで
Point 1	1 売上高	71,943	65,722
	売上原価	66,176	61,155
	売上総利益	5,767	4,567
Point	一般管理費	2,863	2,783
Point 2	2 営業利益	2,904	1,785
	営業外収益	219	319
	営業外費用	1,235	1,353
Point	経常利益	1,888	751
Point 3	3 特別利益	2,802	3,030
	特別損失	50	6
	税金等調整前四半期純利益	4,641	3,776
	法人税等	910	849
	四半期純利益	3,731	2,927
	親会社株主に帰属する四半期純利益	3,731	2,927

Point 1 売上高

△6,221百万円

新型コロナウイルス感染症の影響により第1四半期会計期間における市況が低迷したことが主要因で、売上高が減少しました。

Point 2 営業利益

△1,120百万円

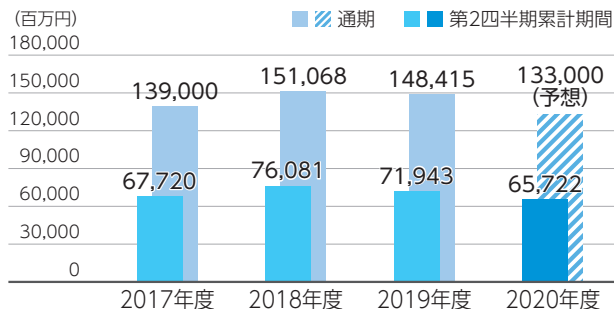
内航部門ではコスト削減等寄与し増益となった一方、外航部門は市況低迷の影響を大きく受けた結果、営業利益は減益となりました。

Point 3 特別利益

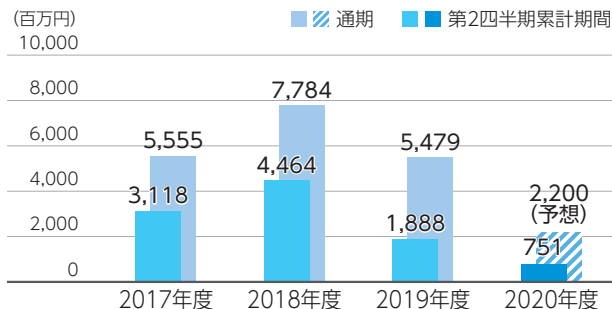
3,030百万円

船舶売却益3,030百万円を計上しました。

売上高



経常利益



第2四半期連結貸借対照表 (要旨) (単位: 百万円)

科 目	前期末 2020年3月31日現在	当第2四半期末 2020年9月30日現在
資産の部		
流動資産	50,484	57,954
Point 4 固定資産	198,038	205,176
資産合計	248,522	263,130
負債の部		
流動負債	52,630	42,522
固定負債	104,783	127,910
Point 5 負債合計	157,412	170,433
純資産の部		
株主資本	92,235	94,336
その他の包括利益累計額	△1,125	△1,639
純資産合計	91,110	92,697
負債純資産合計	248,522	263,130

Point 4 固定資産
+7,139百万円

新造船竣工による船舶の増加が主要因です。

Point 5 負債合計
+13,020百万円

新造船竣工による借入の増加が主要因です。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位: 百万円)

科 目	前第2四半期 2019年4月1日から 2019年9月30日まで	当第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで
Point 6 営業活動による キャッシュ・フロー	8,351	12,529
Point 7 投資活動による キャッシュ・フロー	△12,581	△13,675
財務活動による キャッシュ・フロー	2,097	12,133
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△83	△92
現金及び現金同等物の 増減額	△2,216	10,895
現金及び現金同等物の 期首残高	26,738	19,753
現金及び現金同等物の 四半期末残高	24,522	30,649

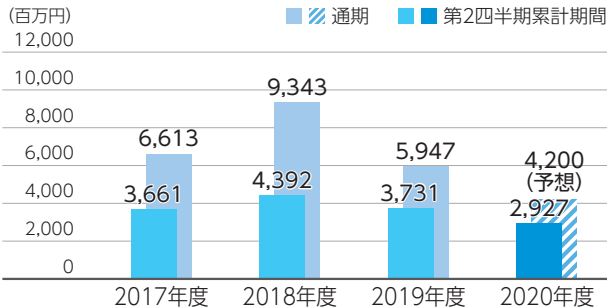
Point 6 営業活動による
キャッシュ・フロー
12,529百万円(収入)

四半期純利益及び減価償却
費が主要因です。

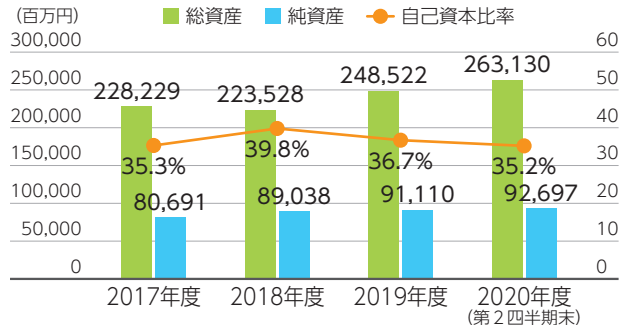
Point 7 投資活動による
キャッシュ・フロー
△13,675百万円(支出)

船舶の取得による支出が主
要因です。

親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益



総資産・純資産・自己資本比率



ESGへの取り組み ～バイオマス燃料運搬船「いぶき」竣工～



当社グループのNSユナイテッド内航海運株式会社が運航するガットクレーン付きバイオマス燃料運搬船「いぶき」の命名・引渡しが、9月17日、大分県佐伯市の本田重工業株式会社殿において行われました。本船はイーレックス株式会社（イーレックス）殿向けバイオマス燃料輸送専属船として国内二次輸送に従事します。本船は比重の軽いバイオマス燃料を効率よく運搬するため、従来の同型船より艀内容積を約3割大きく設計し、積載可能トン数を増加させています。また、軽量貨物に適した大容量グラブバケットによる高効率な荷役により輸送コストの低減を図っています。本船の船名はイーレックス殿社員の皆さまとNSユナイテッド内航海運関係者を対象に公募し選定されました。本船の竣工がイーレックス殿の発電プロジェクトに新たな風を吹き込み、事業が発展するようにとの願いが込められています。

当社グループは外航・内航の双方でバイオマス燃料輸送の契約を積み重ね、これまでエネルギー関連輸送で培ったノウハウを最大限発揮し、安定収益の基盤を強化するとともに低炭素社会実現に貢献します。



大容量グラブバケットによる場荷役

【いぶき 主要目】

総トン数：749トン
載貨重量：2,300トン
主要寸法：全長79.23m
×幅14.00m
×深さ8.15m
艀内容積：3,190m³
航海速力：11.0ノット

会社の概要 (2020年9月30日現在)

Corporate Profile

設立年月日 1950年4月1日

主要な事業内容 外航貨物海上運送事業およびこれに関連または付帯する事業

資本の額 103億円

上場取引所 東京（市場第一部）
〒100-8108
東京都千代田区大手町一丁目5番1号
Tel (03) 6895-6400（番号案内席）

駐在員事務所 中国（上海）、ベトナム（ハイフォン）
海外法人 英国（ロンドン）、米国（コネチカット）、中国（香港）、シンガポール（シンガポール）、フィリピン（マニラ）

従業員数 陸上189名、海上43名、計232名（出向者を含みます）

役員

代表取締役社長	谷水一雄	取締役（社外）	山中一馬
社長執行役員		取締役（社外・独立）	木下雅之
専務執行役員	左光真啓	取締役（社外・独立）	大西節
取締役執行役員	小山田充宏	取締役（社外・独立）	中村勇
取締役執行役員	石川寛二	監査役（社外・独立）	三谷康人
常勤監査役（社外）	峯村保広	監査役（社外）	千原圭三
常勤監査役（社外）	与田直樹	執行役員	北里真一
常務執行役員	中田義文	執行役員	金光潔
常務執行役員	福田和志	執行役員	福田雄二
常務執行役員	宮井成彦	執行役員	紀平徹
執行役員	藤田透	執行役員	中嶋康雄
執行役員	阿諏訪直樹		

主要なグループ会社

NSユニテッド内航海運株式会社	内航海運業
NSユニテッドタンカー株式会社	内航海運業
NSユニテッドマリンサービス株式会社	安全監督・新造船建造監督業
	船員派遣事業
NSユニテッドビジネス株式会社	経理業務受託
NSユニテッドシステム株式会社	情報システムの開発・保守業

株式の状況

発行済み株式の総数 23,970,679株

株主数 6,912名（単元未満株主も含みます）

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
日本製鉄株式会社	7,861	33.36
日本郵船株式会社	4,324	18.35
株式会社みずほ銀行	798	3.39
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	680	2.89
東京海上日動火災保険株式会社	606	2.58
新健海運股分有限公司	504	2.14
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	363	1.54
三井住友海上火災保険株式会社	324	1.38
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	307	1.30
三菱重工株式会社	303	1.29

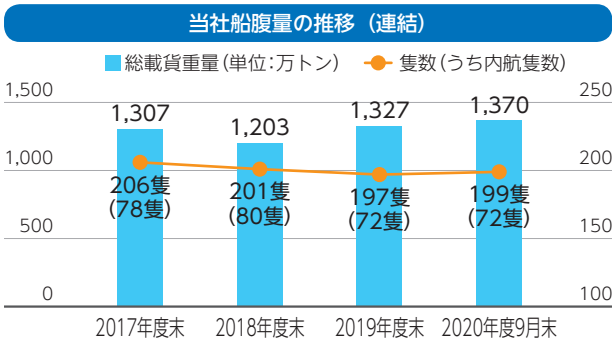
(注) 1. 所有株式数は、千株未満を切り捨てております。
2. 当社は自己株式404千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
3. 出資比率は自己株式（404千株）を控除して計算しております。
4. 2020年7月27日付で日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社は株式会社日本カストディ銀行に商号変更しております。

2020年度第2四半期累計期間当社グループ船隊整備実績 (5年以上の長期用船を含む)

隻数	総載貨重量(トン)
外航 3隻	503,401
内航 1隻	2,300

2020年度(第3-4四半期) 当社グループ船隊整備計画 (5年以上の長期用船を含む)

隻数	総載貨重量(トン)
外航 5隻	711,623
内航 2隻	15,900



株主メモ

決算期日 3月31日 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
期末配当金支払株主確定日 3月31日 みずほ信託銀行株式会社
(中間配当金支払株主確定日 9月30日) 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
定時株主総会開催日 6月下旬 みずほ信託銀行株式会社
同総会権利行使株主確定日 3月31日 本店証券代行部

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行証券代行部
電話お問い合わせ先		☎フリーダイヤル0120 (288) 324 (土・日祝日を除く9:00～17:00)
各種手続取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ証券 本店、全国各支店および営業所プラネット ブース（みずほ銀行内の店舗）でもお取引扱 いいたします。 みずほ信託銀行株式会社本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承 ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、 右の「特別口座の場合」の 郵便物送付先・電話お問い 合わせ先・各種手続取扱 店をご利用ください。	特別口座では単元未満株式の買取・買増以外 の株式売買はできません。証券会社等に口座 を開設し、株式の振替手続を行っていただく 必要があります。

基準日 上記確定日のほか、必要あるときは予め公告の上、基準日を定めます。

単元株式数 100株（2017年9月27日より取引所における売買単位が変更となっております）

公告の方法 電子公告により行う。
公告掲載URL <http://www.nsuship.co.jp/>
(ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由
が生じたときには、東京都において発行される日本経済新聞に掲載され
ます)

証券コード 9110



環境にやさしい植物油インキを
使用して印刷しています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



森林管理協議会 (Forest Stewardship Council®)
で認証された適切に管理された森林からの原料を含
む、FSC® 認証紙を使用しています。



(※)ISO9001は船舶管理部門のみ取得しており
ます。

ホームページのご案内

ホームページでは、IR情報をはじめさまざまな情報
をタイムリーに発信しております。是非ご覧ください。



【トップページ】

<http://www.nsuship.co.jp/>

NS United REPORT

本レポートは、当社内外の全てのステークホルダー
の皆さまに、当社グループ全体の経営戦略やガバナ
ンスなど持続的成長へ向けた取り組み、また、安全
運航や環境保全活動を始めとする社会的な要請にど
のように対応しているかを、総合的にご理解いた
だくことを目的として作成しています。

当社ホームページでPDF版をご覧いただけるほか、
冊子版をご希望の方は、「エコほっとライン」より無
料でご請求いただけます。ぜひお手に取ってご覧下
さい。

https://www.ecohotline.com/products/detail.php?product_id=2999



NSユニテッド海運株式会社

〒100-8108 東京都千代田区大手町1-5-1
大手町ファーストスクエア ウェストタワー
TEL 03-6895-6400